

地域医療コース特論・演習

Integrated Community Pharmacy

薬：L1-18613MY

コース科目 6年／前期 1.5単位 選択必修科目

科目責任者 山崎 紀子(薬学教育研究センター／地域医療学)

■教育目的

5年次の「地域医療コース」実習で修得した知識・技能・態度の総復習を行う。コース実習中に気付いた「地域医療の問題点」を再考し、その問題に対する対応を討議する。また、実習中に修得した知識・技能・態度を活用して薬局窓口事例を検討する。さらに「地域医療コース」で取り組んだコース研究レポートを輪読し、今後の地域医療、薬局業務、患者および地域住民にどのように活かせるかを討議する。

その他、地域医療でも取扱っている漢方に関しては「伝統医療薬学コース」、海外の地域医療に関しては「海外医療コース」、将来に求められる地域医療に関しては「地域医療コース」のそれぞれの有識者による講演を聴講し視野を広める。【卒業認定・学位授与の方針：YD-⑤～⑥】

■学習到達目標

1. 地域医療に関する問題点について SGD で討議し解決法を提案する。(知識・技能・態度)
2. 地域薬局のトラブル事例について SGD でディスカッションし対応について討議する。(知識・技能)
3. 5年次に取り組んだ各自のコース研究に関し学生間でその目的を理解し評価する。(知識・技能・態度)
4. 地域医療における漢方の役割を関係づける。(知識)
5. 海外における地域医療および薬剤師の役割を関係づける。(知識)
6. 将来の地域医療の役割について討議する。(知識・技能・態度)

■準備学習（予習・復習）

予習：コース実習で得た知識・技能・態度を、患者および住民にどのように活かせるかを再考しておく。(30分)

復習：今後、地域薬局が患者および地域住民に対して担う役割を再確認する。(30分)

■授業形態

課題解決型学習、ディスカッション・ディベート、グループワーク、プレゼンテーション、双方向型授業、講義

■授業内容

No.	項目	授業内容	SBOコード
1～15	演習・講義	地域医療の問題点とその対応(SGD) 薬局窓口における対応(1)(2)(ディスカッション) コース研究レポート輪読(プレゼンテーション、ディスカッション) 他コース等との合同講義	B(4)-①1～6, ②-1～5 G(3)-4,5

■授業分担者

山崎紀子(責任者)、下川健一(副責任者)、中舘和彦(副責任者)、飯田克巳、井上元基、植沢芳広、蒲生修治、菅野敦之、木村真也、小関珠美、斎坂ゆかり、田口潤、深水啓朗、宮沢伸介、望月靖子、山田聖子、山中正道、横屋正志、学外講師

■課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

質問を個別に受け付け、授業担当者より解説・説明をする。

授業(演習・講義)の演習態度 50 %およびレポート提出 50 %にて総合的に評価する。